



平成31年4月16日発行 中等新報第2号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

誓いの言葉 ～ 中等教育学校生としての心意気 ～



入学式のハイライト、新入生代表 藤川姫里さんの「誓いの言葉」の抜粋を紹介します。

新入生代表誓いの言葉

新元号が「令和」と決まり、5月1日から始まります。どんな時代になるのか、今からワクワクしています。(中略)

調べてみると、今後日本が世界から注目されるイベントがたくさんあることが分かりました。5月は新天皇の即位、6月は大阪でのG20、9月から11月ラグビーワールドカップ、そして来年には東京オリンピック、パラリンピック、その後は大阪万博が控えています。今後、皇室に関わるイベントには、すべて日本の自動車が使われることに決まったとニュー

スで知りました。日本の優れた技術を世界中の人に観てもらおう絶好のチャンスかもしれません。

年々訪日外国人や外国人労働者も増加し、外国の人と接する機会が多くなった今、社会が求める人材に対応できるようになりたいです。社会で習った日本の食料自給率を考えてみると、人が一人では生きていけないように、日本も自国だけではやっていけません。例えば、日本で好まれている「エビ天うどん」ひとつ取ってみても、原料であるエビ、小麦を日本だけで手に入れるのは難しいことに気づかされます。だから、外国の人と共生できる社会を築くために、世界共通語である英語を勉強し、外国の人とうまく関わることができるようになりたいです。この春休みに、東京のイングリッシュキャンプに参加しましたが、4年生で行くオーストラリア海外研修旅行を、今から楽しみにしています。外から日本を見る視点を持ちたいです。

これから6年間の中で課題となるのは、時間の使い方だと思います。みんなに平等に与えられている24時間。その中で、時間に追われている時でも、「たった5分しかない」と考えて何もしないのか、「あと5分あるから何かを覚えよう」と考えるのかでかなり違ってくると思います。隙間時間に対する意識を変えることが重要だと考えています。今日から始まる新しい生活の中で、知識を深め、経験を広げ、人として大きく成長したいと思います。(中略)そして、社会で活躍し、必要とされる人材となるように全力で努力することを、ここに誓います。

堂々とした態度で、高い志を語ってくれましたね。中等教育学校の6年間には、皆さんが大きく成長するチャンスがたくさん用意されています。新入生のみなさんの健闘をこころから応援しています。

対面式・部活動紹介

4月5日(金)6、7限に「対面式・部活動紹介」を実施しました。生徒会執行部が中心となって、全体の運営を行ってくれました。

新入生の目に、年の離れた先輩たちの姿はどのように映ったでしょうか。

各種委員会の紹介、部活動の紹介には、新1年生を歓迎する上級生の温かな配慮が随所に感じられました。さあ、新年度のスタートです。

箏曲部の息の合った演奏



生徒会年間スローガン「燎」を掲げるチャレツポ

